**平成32(2020)年度用 「わくわく せいかつ上」「いきいき せいかつ下」**

**観点別特色一覧表**

**１．生活科の目標**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 1 | **具体的な活動や体験を通して，学習が展開できるようになっているか。** | ●単元導入は，児童が笑顔で活動している写真から始まっており，単元の始めから具体的な活動が見える構成になっている。  ●見る，聞く，触れる，作る，探す，育てる，遊ぶなどして**対象に直接働きかける学習活動**が豊富に紹介されている。  ●充実した活動や体験を通して，児童の「書きたい」「発表したい」という意欲を育て，体験活動と表現活動が繰り返されることで**児童の学びの質が高まる**ように工夫されている。 | ●単元導入  上p.2-3,20-21,34-35,44-45,58-59,72-73,86-87,98-99,108-109,下p.2-3,12-13,26-27,42-43,58-59,72-73,86-87,98-99  ●対象に直接働きかける学習活動  上p.6-15,24-31,36-41,48-51,60-63,66-67,76-83,90-91,96-97,102-105,112-115,下p.6-9,16-23,32-39,46-51,62-67,78-81,92-93,102-105  ●表現活動  上p.16-17,32-33,42-43,54-55,64-65,84-85,92-93,106-107,116-117,下p.24-25,36-37,52-53,66-67,82-83,92-95,106-107 |
| 2 | **身近な生活に関わる見方・考え方を生かしながら，思いや願いを実現しようとする展開になっているか。** | ●見つける，比べる，たとえる，試す，見通す，工夫するなどの**多様な学習活動**や，試行錯誤したり，繰り返したりして，**何度も対象と関わる学習活動**が豊富に掲載されている。  ●活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉，絵，動作，劇化などで**表現する活動が豊富**に掲載されている。  ●身近な人々，社会及び自然を自分との関わりでとらえ，よりよい生活に向けて**思いや願いを実現していこうとする児童の姿**が写真やイラストなどで示されている。 | ●多様な学習活動  上p.48-49,下p.32-33など（見つける）  上p.82-83,下p.64-65など（比べる）  上p.25,26,65,下p.17など（たとえる）  上p.82-83,下p.58-67など（試す）  下p.16,46など（見通す）  上p.50-51,82-83,下p.21,48-49など（工夫する）  ●多様な表現活動  上p.54-55,64（絵）  上p.26,27,65（動作）  上p.64,下p.117（劇化）  上p.43,64,下p.25,37,92,117（ICT）など |
| 3 | **自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を総合的に育成できるようになっているか。** | ●単元導入では，**幼児期の育ちやこれまでの経験**を基礎にし，児童の日常生活から単元が始まるような構成になっている。  ●活動の中で生まれた「もっとこうしたい」などの思いや願いが，次の活動につながるように，連続性のある単元が構成されている。  ●単元末には，ふり返り活動が設けられ，得られた気付きが価値あるものとして意味づけられ，自分の成長や学ぶ楽しさを実感することで，**学習したことを次の学習や生活に生かそうとする意欲が高まる**ようになっている。  ●生活上の自立，学習上の自立，精神的な自立の３つの視点から，児童の自立を支える教師の支援として，言葉かけや板書の活用の例が具体的に示されている。 | ●単元導入  上p.2-3,20-21,34-35,44-45,58-59,72-73,86-87,98-99,108-109,下p.2-3,12-13,26-27,42-43,58-59,72-73,86-87,98-99  ●ふり返り活動  上p.16-17,32-33,42-43,54-55,64-65,84-85,92-93,106-107,116-117,下p.24-25,36-37,52-53,66-67,82-83,92-95,106-107  ●教師の支援（言葉かけ）  上p.7,9,17,26,31,32,45,62,81,90,92,104,下p.14,19,24,30,48,52,63,76,100など  ●教師の支援（板書例）  上p.54,92,110-111,114,下p.30,90,94など |

**２．資質・能力の３つの柱**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 4 | **知識及び技能の基礎** | ●紙面の左上の「小単元名」で具体的な活動が示されており，**見通しをもって取り組む**ことができるようになっている。  ●巻末資料「がくしゅうずかん」には，調べ方・記録の仕方・話し合いの工夫・まとめ方などが一連で示されたり，用具の使い方・安全上の注意などが示されたりして，**基本的な知識及び技能**や**学び方**が身につくように工夫されている。  ●基本的な知識及び技能や，あいさつ，マナー，安全に関する注意事項は「こんなときどうしよう」などの各種コーナーで学習できるように工夫されている。 | ●巻末資料「がくしゅうずかん」  上p.119-131,下p.109-128  ●各種コーナー  上p.7,11,27,39,41,57,77など  下p.17,19,31,33,35,39,41,47,49など |
| 5 | **思考力，判断力，表現力等の基礎** | ●生活科の**学びのプロセス**を考慮し，単元は，導入「わくわく」，主たる活動「いきいき」，ふり返り「ぐんぐん」の３段階で構成され，**探究的な学び**が身につくように構成されている。  ●気付いたことをもとに考えるための，見つける，比べる，たとえる，試す，見通す，工夫するなどの多様な学習活動の例が写真・表現物・イラスト・児童の台詞などで示されている。  ●児童の**気付きの質を高めるための教師の支援**として，言葉かけや板書の活用の例が具体的に示されている。  ●単元末「ぐんぐん」紙面での，言葉，絵，動作，劇化，ICTの活用など多様な表現活動は，“発達段階”や“合科的・関連的指導”，“３年生への接続”などに配慮しながら，組織的・系統的に設定されており，**思考を深め，豊かな表現力が身につく**ように配慮されている。 | ●多様な学習活動  上p.48-49,下p.32-33など（見つける）  上p.82-83,下p.64-65など（比べる）  上p.25,26,65　下p.17など（たとえる）  上p.82-83,下p.58-67など（試す）  下p.16,46など（見通す）  上p.50-51,82-83,下p.21,48-49など（工夫する）  ●教師の支援（言葉かけ）  上p.7,9,17,26,31,32,45,62,81,90,92,104,下p.14,19,24,30,48,52,63,76,100など  ●教師の支援（板書例）  上p.54,92,110-111,114,下p.30,90,94など  ●表現活動  上p.16-17,32-33,42-43,54-55,64-65,84-85,92-93,106-107,116-117,下p.24-25,36-37,52-53,66-67,82-83,92-95,106-107 |
| 6 | **学びに向かう力，人間性等** | ●全単元を通して，思いや願いの実現に向けて，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかける具体的な姿が写真やイラストなどで示されている。  ●自分の良さに気付いたり，**自己肯定感**が高まったりするように，自分の成長を感じることができる学習活動が設定されている。また，児童が互いのよいところに共感し合ったり，教師の言葉や保護者からの手紙などで称賛したりして，認められるように配慮されている。  ●下巻の巻末では，生活科の学習をふり返る中で，未来に向けての夢と志をもつことができる「３年生へのステップブック みらいに むかって」の資料単元が設定されている。  ●単元末「ぐんぐん」紙面では，学習をふり返り，自らの成長や学びの深まりを実感することで，満足感・成就感などの手応えとなり，**次の活動への持続的な意欲が育まれる**ように工夫されている。  ●単元末「ぐんぐん」紙面の「ひろがるきもち」コーナーでは，生活科の学習が日常生活に広がり，**児童が自立し生活を豊かにしようとする姿**が具体的に示されている。 | ●相互評価  上p.112,下p.105  ●教師や保護者からの称賛  上p.33,93,116,下p.107  ●３年生へのステップブック  下[小寸]p.1-7(みらいにむかって)  ●単元末「ぐんぐん」  上p.16-17,32-33,42-43,54-55,64-65,84-85,92-93,106-107,116-117,下p.24-25,36-37,52-53,66-67,82-83,92-95,106-107  ●ひろがるきもち  上p.17,43,55,65,93,107,117  下p.9,25,37,53,67,83,95,107 |

**３．教科書の構成・配列**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 7 | 教科書の**構成・単元の配列**は適切か。 | ●上巻・下巻ともに，季節に沿って単元が構成され，単元が進むにつれて**活動が広がり，深まっていく**ように配列されている。 | 教科書全体を通して |
| 8 | 単元の**内容・分量**は適切か。 | ●単元名で学習内容の概要がわかり，児童の興味・関心を生かした活動ができるよう，大きくゆったりとしたくくりになっている。 | 教科書全体を通して |
| 9 | **長期休暇や休日**に対して柔軟な配慮がなされているか。 | ●上巻・下巻ともに「きせつだより」が設けられている。ここでは，家庭や地域でも，自主的に活動を発展させることができるような例が多く紹介され，**学校外でも児童が力をつけていける**ように工夫されている。  ●町探検において，児童が休日に利用する公共施設（図書館・博物館・駅など）との関わりが紹介されている。 | ●きせつだより  上p.56-57,94-95  下p.10-11,56-57,70-71,96-97  ●公共施設との関わり  下p.38-41,118-119など |
| 10 | **２学期制**に対応しているか。 | ●９月末～１０月初旬に単元の区切りをおき，２学期制にも対応できるよう配慮されている。 | ●９月末～１０月初旬からはじまる単元  上p.58-65(生きもの大すき)  下p.72-83(もっと知りたいたんけんたい) |
| 11 | **複式学級**に対応しているか。 | ●上巻・下巻ともに，１・２年生までに習う漢字すべてにルビが付けられているため，１年生の児童でも下巻の教科書を使用することできるように配慮されている。  ●活動例や学習対象が多様に紹介され，その中から，学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。  ●巻末資料「がくしゅうずかん」を活用し，より重点的・弾力的な活動ができるようになっている。 | 〈漢字・カタカナの使い方〉   |  |  | | --- | --- | | 上巻(前半) | ひらがな | | (後半) | ひらがな，カタカナ，  第1学年配当漢字(ふりがな付き) | | 下巻 | ひらがな，カタカナ，  第1～2学年配当漢字(ふりがな付き) |   ●巻末「がくしゅうずかん」  上p.119-131,下p.109-128 |

**４．内容の選択・扱い**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 12 | 児童の**発達段階**が考慮されたものになっているか。 | ●上巻は主として学校を，下巻は主として地域を活動の場とし，学習指導要領の９つの内容が児童の発達段階を考慮して配列されている。  ●「家庭と生活」に関わる単元は，低学年児童にとって家庭は学校と密接不離な生活環境という観点から上巻に，「成長」に関わる単元は，2年間の活動の集大成という観点から，下巻の最後に重点を置いて配置されている（上巻の成長単元は１年間のふり返りの扱いで最後に配置されている）。 | 【(2)家庭と生活】上p.86-93  【(9)自分の成長】下p**.**98-107 |
| 13 | **主体的・対話的で深い学び**につながる学習ができるようになっているか。 | ●単元は，導入「わくわく」，主たる活動「いきいき」，ふり返り「ぐんぐん」の３段階で構成され，単元を通して**活動が発展し，深めていける**ようになっている。  ●「次はこうしたい」「もっとこうしたい」という思いや願いが紙面右下の「めくり言葉」に例示され，児童の**活動の連続性・広がりをサポート**できるようになっている。  ●活動を通して身近な人々，社会，自然と繰り返し関わっていくことができるようになっており，**活動が繰り返し深まる**ように配慮されている。  ●町探検の絵地図は，繰り返し使用し，気付いたことを書き足すことで，発見や気付きが増えていったことがわかり，**学びが深まる実感を得られる**ように工夫されている。  ●児童の思考を促したり，学習を方向づけたり，気付きの質を高めたりする**教師の支援の例**が具体的に掲載されている。  ●**児童の気付きを共有化・可視化する**ための，板書，ふせん，ICTを活用する学習活動が豊富に掲載されている。 | ●３段階構成  ※教科書全体として  ●めくり言葉  ※教科書全体として  ●町探検の絵地図（繰り返し学びを深める）  下p.30,36,73,76,82,93  ●定点観測（繰り返し学びを深める）  上p.12,48,76,102(校庭)  上p.36-37,78-79(公園)  ●教師の支援（言葉かけ）  上p.7,9,17,26,31,32,45,62,81,90,92,104,下p.14,19,24,30,48,52,63,76,100など  ●教師の支援（板書例）  上p.54,92,110-111,114,下p.30,90,94など |
| 14 | **学びの見通し・ふり返り** | ●単元導入は，「わくわくの扉」と「わくわくボックス」の４ページで構成され，「～したい」という思いや願いを高めることで，**児童自身が学びの見通しをもてる**ように構成されている。  ●表現活動は，発表形式のみならず，１対１や，グループ内，現地に出て，身ぶり手ぶり，実物を持ってなど，**多様な方法**を通して，さらに気付きが深まり，活動に広がりが出るように配慮されている。  ●単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな？」コーナーでは，学習過程や成果をふり返り，**自らの成長や学びの深まりを実感できる**ように工夫されている。 | ●わくわくの扉  上p.2-3,20-21,34-35  下p.2-3,12-13,26-27など  ●わくわくボックス  上p.4-5,22-23,36-37  下p.4-5,14-15,28-29など  ●表現活動  上p.16-17,32-33,42-43,54-55,64-65,84-85,92-93,106-107,116-117,下p.24-25,36-37,52-53,66-67,82-83,92-95,106-107  ●できるかなできたかな？  上p.17,33,55,65,85,93,107,下p.9,25,37,53,67,83,95,107 |
| 15 | **言語活動**が充実するように工夫されているか。 | ●単元末「ぐんぐん」紙面では，言葉，絵，動作，劇化，ICTの活用など多様な表現活動が発達段階や合科的・関連的指導，３年生への接続などに配慮しながら，組織的・系統的に設定されており，**思考を深め，豊かな表現力が身につく**ように配慮されている。  ●思考と表現が一体的に行われたり繰り返されたりする低学年の特性に配慮しながら，主な活動「いきいき」紙面でも，さまざまな表現方法が紹介され，**体験活動と表現活動が繰り返される**ことで児童の学びの質が高まるように工夫されている。  ●発表形式のみならず，１対１や，グループ内，現地に出て，身ぶり手ぶり，実物を持ってなど，多様な伝え合い活動を通して，さらに気付きが深まり，活動に広がりが出るように配慮されている。  ●国語科や書写で学習したことを生かした，作文・新聞・招待状・説明文・パンフレット・ポスター・俳句などの多様な表現物が記載されている。  ●相手のことを想像して，**伝えたいことや伝え方を自己決定**できるように，巻末資料の「がくしゅうずかん」に，まとめ方や伝え方を示した資料が掲載されている。 | ●多様な表現活動  上p.26,27,65（身体表現）  上p.65,84（歌やダンス）  上p.54-55,64（絵）  上p.64,下p.117（劇）  上p.43,64,下p.25,37,92,117（ICT）  上p.17,84-85,106-107,下p.66-67,105（実物の使用）  上p.33,下p37,91,117（クイズ）  下p.37,105（ペープサート）  上p.32下p.105（絵本・まきもの）  下p.105,116（紙芝居）  下p.92-93,117（カルタ）  ●伝え合い活動，表現活動  上p.8-9,16-17,32-33,42-43,54-55,64-65,84-85,92-93,106-107,116-117,下p.24-25,36-37,52-53,66-67,82-83,92-95,106-107  ●国語科や書写との関連  （作文）下p.95  （新聞）下p.53,91,105,116  （招待状）下p.91,106  （説明文）下p.67  （パンプレット）下p.117  （ポスター）下p.80  （俳句）下p.9,117  （年賀状）上p.95  （手紙）上p.97,下p.25,107,122 |
| 16 | **個に応じた指導**ができるように工夫されているか。 | ●児童の活動をより広げ，深めるものとして発展的な内容が巻末資料に設けられている。  ●巻末の豊富な資料により個に応じた学習が行いやすくなっている。 | ●発展的な内容  下p.123 リサイクルしよう(社会科4年)  下p.126-127 せかいとつながろう(外国語教育など)  ●巻末資料「がくしゅうずかん」  上p.119-131,下p.109-128 |
| 17 | **評価**に関して，教科書が適切に利用できるようになっているか。 | ●単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな？」コーナーは，教師にとって，その単元で**育てたい児童の姿**がわかり「評価の手がかり」になるよう工夫されている。また，児童にとっては，「**自己評価の視点の例**」として，活用できるようになっている。  ●児童の作品やキャラクターの発言，カード類において，自分の成長や相互評価の例がとりあげられ，評価につながるように配慮されている。  ●児童が互いのよいところを共感し合ったり，教師の言葉や保護者からの手紙などで称賛したりして，認められるように配慮されている。 | ●できるかなできたかな？･･･紙面右下  上p.17,33,55,65,85,93,107  下p.9,25,37,53,67,83,95,107  ●相互評価  上p.112,下p.105  ●教師や保護者からの称賛  上p.33,93,116,下p.107 |
| 18 | **身近な素材**を使って活動ができるようになっているか。 | ●おもちゃなどの製作活動では，多くの身近な素材を使用して多様な活動に取り組めるようになっている。  ●自然活動に際しては，身近な動物や植物などの自然との関わりに興味・関心をもてるよう，**資料を豊富に掲載**している。  ●動植物を採り過ぎないように配慮されていたり，おもちゃ作りの活動後は素材を無駄にしないように促されていたりして，**環境への意識も高まる**ようになっている。 | ●おもちゃ単元  下p.58-69(せかいでひとつわたしのおもちゃ)  ●飼育単元  上p.58-67(生きもの大すき)  下p.42-55(みんな生きている)  ●栽培単元  上p.20-33(げんきにそだてわたしのはな)  下p.12-25(大きくそだてわたしの野さい) |
| 19 | **気付きの質の高まり**に十分目を向けられているか。 | ●単元は導入「わくわく」，主たる活動「いきいき」，ふり返り「ぐんぐん」の３段階で構成され，紙面左上にマークを付して目立たせることで，単元を通して**活動が発展し，深まっていくことが見て取れる**ようになっている。  ●単元内の活動は，基本的に見開き単位で構成され，それらが単発の活動にならないように，紙面右下の「めくり言葉」で，「次はこうしたい」，「もっとこうしたい」という思いや願いが掲載されている。これにより，**次の活動に向けての思いや願い**をもって深めていけるようになっている。  ●直接体験を通した児童の発見や感動は，気付きへとつながる重要な手がかりであり，これらが写真・イラスト・カード・本文・キャラクターの台詞で表現されることで，**気付きに目が向く**ように十分配慮されている。  ●教師が児童とともに活動したり共感したりするようすが取り上げられ，児童の気付きが深まる例が随所に示されている。 | ●気付きのヒントになるキャラクターの台詞  上p.1,4,12,15，29,37,39,53,63,75,81,91など  下p.15,23,28,31,38,46,49,69,77,106  ●カードの例  上p.16,25,27,29,31,32,33,39,41,43,49,51,57,63,67,77,79,81,83,89,91,93,97,103,112,113,  下p.9,12,14,15,17,21,23,24,25,31,33,35,39,47,49,61,63,65,66,77,79,81,88,89,102 |
| 20 | **協働的な学習活動**ができるよう工夫されているか。 | ●児童が，**自分たちで企画立案や伝え合い**をしながら活動を深めるようすが紙面に示されている。  ●ふせんなどを活用して，町探検で町の人にインタビューする項目をグループごとに考えたり，気付いたことをまとめたりする具体的なようすが紙面に示されており，**協働的な学習活動**により気付きの質が高まるよう配慮されている。  ●協働的な学びが自然と生まれるように，机の配置を３～４名のグループで設定するなど，**場の設定や授業環境の工夫**が紙面の写真やイラストから見てわかるようになっている。  ●紙面右上の「こんなときどうしよう」のコーナーでは，単元の学習の中で生じると予想される課題がイラストで示されており，クラスでの話し合いとして活用できるようになっている。  ●巻末資料の「がくしゅうずかん」では，「友達と考えを深めよう」の資料が設けられており，**グループでの話し合いの方法やクラスでの話し合いの方法，話し合いのヒント**などが示され，児童の協働的な学びをサポートしている。 | ●協働的な学習活動  ※教科書全体を通して掲載しています。  上p.8,16,32,42,54,82,83,92など  下p.16,24,30,36,46,48,51,63,77,82,90など  ●こんなときどうしよう  上p.7,11,27,39,41,57,77など  下p.17,19,31,33,35,39,41,47,49など  ●巻末資料「がくしゅうずかん」  上p.124-125 (ともだちとかんがえをふかめよう)  下p.114-115 (友だちと考えをふかめよう) |

**５．カリキュラム・マネジメント，他教科との関連**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 21 | **他教科との関連**を図ることで指導の効果が高まるような工夫がされているか。 | ●国語科（話すこと，聞くこと，書くこと，読むこと），算数科（かず，時間），音楽科（歌），図画工作科（製作，造形），体育科（ゲーム，ダンス），道徳科(生命の尊さ，伝統文化)などの**各教科等の学習で育成を目指す資質・能力との関連を考慮**し，学習活動の充実を図る工夫がされている。  ●他教科との関連がある具体的な活動には，**合科的・関連的な学習活動を示すマーク**が付けられている。 | ●国語科との関連  上[小寸]p.10-11,上p.16-17,32-33,43-43,64-65,92-93,106-107,116-117,下p.24-25,30-37,78-83,90-95,106-107など  ●書写との関連  上[小寸]p.11,上p.112,下p.91,106  ●算数科との関連  上[小寸]p.11,上p.29,31,84など  ●音楽科との関連  上[小寸]p.8-9,11,上p.65,84など  ●図画工作科との関連  上[小寸]p.10，  上p.50-51,54-55,64-65,84-85,  下p.58-67など  ●体育科との関連  上[小寸]p.11,上p.27,64-65など  ●道徳科との関連  上p.68-69,下p.84-85,108など |
| 22 | **道徳教育の充実**に配慮されているか。 | ●「生命の尊さ」，「家族愛，家庭生活の充実」，「伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度」など，道徳科の学習と生活科の学習の効果が相互に高められるよう道徳科の学習に関連する紙面が充実している。  ●あいさつやマナーは，「こんなときどうしよう」などのコーナーで学習できるように工夫されている。 | ●善悪の判断,自律,自由と正義  上p.7,39,下p.31  ●礼儀  上p.11  ●生命の尊重  上p.20-33,58-67,68-69,下p.12-25,42-53  ●親切,思いやり  上p.38  ●伝統と文化の尊重  上p.57,96-97,  下p.10-11,56-57,70-71,96-97  ●家族愛,家庭生活の充実  上p.86-93  ●国際理解,国際親善  下p.126-127 |

**６．幼児教育とのつながり**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 23 | **幼児教育との接続・スタートカリキュラム** | ●**「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(１０の姿)」**を踏まえて，児童が主体的に自己を発揮しながら，安心して学校生活を始められるように上巻の巻頭に，すたあとぶっく「がっこうだいすき あいうえお」の単元が設定されている。  ●入学当初の緊張感のある児童が遊びを通して関わることで，児童の**人間関係が豊かに広がる**ように配慮されている。  ●幼児期における遊びを通した総合的な学びから，各教科等における学習に円滑に移行できるよう，**歌や遊びを取り入れた活動**や，生活科を中心とした**合科的・関連的な学習活動**の例示が充実している。  ●入学当初だけでなく，その後の単元においても，幼児期の学びや育ちを生かして自己を発揮できるよう配慮されている。 | ●すたあとぶっく  上[小寸]p.1-16(がっこうだいすきあいうえお)  ●教師の言葉かけ働きかけ  上[小寸]p.7,9,11  ●歌や遊びを取り入れた学習活動  上[小寸]p.8-9,11  ●合科的・関連的な学習活動  上[小寸]p.9-10(図画工作,国語,体育,算数,音楽)  ●幼児期の学びや育ちとのつながり  上p.21,45,59,下p.14 |
| 24 | **保幼小交流活動** | ●保幼小交流活動では，幼児にとっては小学校への期待を高め，児童にとっては自己肯定感を高められる**互恵性のある活動**が設定されている。 | ●保幼小交流  上 p.43,85,114-117 |

**７．中学年以降へのつながり**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 25 | **社会科へのつながり**に配慮されているか。 | ●町探検では，町のようすを**絵地図に整理する学習活動**が設けられ，位置関係や空間的な広がりへの気付きにつながるよう配慮されている。  ●町探検では，**公共施設の見学のようす**が例示されており，さまざまな施設によって自分たちの生活が豊かになっていることがわかるようになっている。  ●秋の町探検では，人に注目した単元の構成になっており，**町に暮らす人や町で働く人と関わり**がもてるように工夫されている。  ●下巻巻末「がくしゅうずかん」では，社会科４年生につながるリサイクルの資料が発展的な学習として例示されている。  ●下巻の「きせつだより」では，**季節ごとの年中行事**の例が示されており，伝統や文化への気付きや，時期や時間の経過への気付きなどにつながるようになっている。 | ●町探検の絵地図  下p.30,36,73,76,82,90,93など  ●公共施設の利用  下p.38-41  ●町で働く人との関わり  下p.26-41(とび出せ！町のたんけんたい)  下p.71-83(もっと知りたいたんけんたい)  ●リサイクル  下p.123  ●年中行事  下p.10-11,56-57,70-71,96-97 |
| 26 | **理科へのつながり**に配慮されているか。 | ●栽培活動は，上巻では花を，下巻では野菜を扱い，**植物の一生や生命の連続性への気付き**につながるよう工夫されている。  ●飼育活動は，**上巻では身近な生き物と関わり**をもつこと，**下巻では身近な生き物の長期的な飼育**を扱い，生命の連続性への気付きにつながるよう工夫されている。  ●おもちゃ作りでは，風・ゴム・磁石・空気などの視点の例示があり，遊びながら**物の性質や働きに気付く**よう工夫されている。  ●校庭や公園のイラストは，同じ場所が描かれ，自然のすばらしさや季節を感じられるようになっている。  ●一人ひとりの児童が思いや願いの実現に向けて試行錯誤するようすが示され，**問題解決の過程への基礎**が養われるようになっている。 | ●飼育単元  上p.58-67(生きもの大すき)  下p.42-55(みんな生きている)  ●栽培単元  上p.20-33(げんきにそだてわたしのはな)  下p.12-25(大きくそだてわたしの野さい)  ●おもちゃ単元  下p.58-69(せかいでひとつわたしのおもちゃ)  ●定点観測イラスト  上p.12,48,76,102(校庭の定点観測)  上p.36-37,78-79(公園の定点観測) |
| 27 | **総合的な学習の時間へのつながり**に配慮されているか。 | ●具体的な活動や体験を通じて，気付いたことをもとに考えたり，主体的にまた，協働して多様な学習活動を行ったりすることで，「総合的な学習の時間」にスムーズにつながるように工夫されている。  ●単元は，生活科の学びのプロセスに沿って，導入「わくわく」，主たる活動「いきいき」，ふり返り「ぐんぐん」の３段階で構成され，それらの学びをくり返すことで，総合的な学習の時間につながる，**探究のプロセスの基礎**を養えるように構成されている。 | ●協働的な学習活動  ※教科書全体を通して掲載しています。  上p.8,16,32,42,54,82,83,92など  下p.16,24,30,36,46,48,51,63,77,82,90など |
| 28 | **中学年以降へのつながり**に配慮されているか。 | ●生活科の活動内容から無理なく発展するように，本編の活動内容と上位学年の学習内容との関連を配慮しながら設定されている。  ●下巻の巻末では，生活科の学習をふり返る中で，未来に向けての夢と志をもつことができる「３年生へのステップブック みらいに むかって」の資料単元が掲載されている。 | ●３年生へのステップブック  下[小寸]p.1-7(みらいにむかって) |

**８．今日的な教育課題**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 29 | **防災教育・減災教育**への配慮が十分になされているか。 | ●災害は，自然災害，交通災害，人的災害の３つの視点をもとに，**適切な行動や基本的な知識**が身につくよう資料が充実している。  ●**登下校に関する交通安全の資料は，１年生の４月の段階で指導できる**ような配列になっている。  ●登下校に関する交通安全の資料には，保護者の方へのメッセージを掲載し，**家庭と学校が連携して児童の安全を考えられる**ように工夫されている。  ●地震，火事，津波などの自然災害に関する資料は，上巻では学校探検の単元末に掲載されており，学校の施設や役割とともに学習したり，１学期の避難訓練などと同時に指導できたりするようになっている。下巻では，巻末資料「がくしゅうずかん」に掲載されており，いつでも確認できるようになっている。  ●防災に関するさまざまな標識やマークを掲載することで，児童の安全への意識や，基本的な生活習慣や技能が自然と高まるように工夫されている。 | ●防災に関する資料  上[小寸]p16-p.1(登下校,いかのおすし,地震,標識)  上p.14-15(地域の人,子ども110番)  上p.18-19(地震,火事,津波,おはしも,避難訓練)  下p.33(避難の標識)  下p.120(避難の標識)  下p.128(地震,火事,津波,おはしも)  ●保護者の方へのメッセージ  上p.1,19 |
| 30 | **安全教育**への配慮が十分になされているか。 | ●危険な生物(スズメバチ，チャドクガの幼虫など)については，「きをつけよう」のコーナーに写真を掲載し，**活動前に安全指導ができる**ようになっている。  ●交通安全や道具を使うときの注意などは，キャラクターの発言やマークなどを適所で的確に押さえられている。  ●はさみやカッターナイフなどの道具の使い方や，危険な生き物に対する注意など，**安全への配慮**が充実している。  ●熱中症が心配される夏の単元では，帽子を着用したり，校庭のイラストに水筒を描き込んだりなどの配慮がされている。 | ●危険な生き物  上p.41,77,下p.47  ●道具の使い方  上p.130(はさみ,のり,接着剤,きり)  下p.124(カッターナイフ,スチレンカッター,のり,接着剤,ステープラ,千枚通し,パンチ)  ●熱中症への配慮  上 p.12,36,37,39,48,50,下p.32,33など |
| 31 | **アレルギー**への配慮がされているか。 | ●飼育においては，学習をはじめる前に，動物や昆虫などの**アレルギー**について確認できるように配慮されている。 | ●ご指導される先生方へのメッセージ  上p.58,下p.42 |
| 32 | **衛生面**への配慮が十分になされているか。 | ●飼育，栽培においては，活動の前後に手洗いなどの衛生面への注意を促されている。  ●ザリガニカビ病などの衛生面の不安のあるアメリカザリガニの掲載を避けている。 | ●飼育単元  上p.58-67(生きもの大すき)  下p.42-55(みんな生きている) |
| 33 | **人権や福祉**への配慮がされているか。 | ●幼児や高齢者，外国人，障がいのある方など，こだわりなく関わることができ，誰もが住みやすい社会を目指そうとする意識が自然に芽生えるように工夫されている。  ●イラストで，車椅子を使用する児童が設定され，ともにいきいきと活動しているようすが紹介されている。 | ●多様な人が描かれているイラスト  上p.36-37(公園の俯瞰図)  上p.78-79(公園の俯瞰図)  下p.28-29(町の俯瞰図)  下p.126-127(せかいとつながろう)  ●車椅子を使用する児童  上頭[小寸]p.6,15,上p,6,12,14,42,48,76,79,84,106,下p.9,32,36,67,92, |
| 34 | **男女平等**への配慮がされているか。 | ●イラスト，写真などの男女比がほぼ同比率になっており，さらに性別によって服装の色や種類が固定的にならないように配慮されている。また，家庭での役割や社会進出の面で，男女に差が生じないようになっている。 | 教科書全体を通して |
| 35 | **国際理解**へとつながる配慮がされているか。 | ●上巻・下巻ともに，写真やイラストに外国人の児童が設定され，ともにいきいきと活動する姿が示されている。  ●多様な言語で表記されている標識や，あいさつなどが掲載されている。  ●外国のけん玉を記載し，児童が異なる国の文化に興味関心が高まるように工夫されている。 | ●外国人の児童  上p.5,6,11,12,13,15,17,24,36,37,41,49,50,54,60,65,74,76,78,79,83,84,85,88,89,92,102,104,106,107,113,114,116,117,  下p.4,5,6,15,21,33,36,37,52,59,63,64,66,76,92,93,94,99,102  ●巻末資料「がくしゅうずかん」  下p.126-127(せかいとつながろう) |
| 36 | **伝統や文化に関する教育**の充実に配慮されているか。 | ●季節の行事や歌を例示し，日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるように工夫されている。  ●けん玉，こま，あやとり，おはじきなど昔の遊びにふれられるように配慮されている。 | ●きせつだより  上p.56-57,94-95  下p.10-11,56-57,70-71,96-97  ●昔の遊び  上p.96-97 |
| 37 | **生命尊重**への配慮はされているか。 | ●飼育や植物栽培を通して，生命の誕生や命のあたたかさなどにふれ，生命の大切さや慈しむ心を育てるとともに，生命の連続性に気づくように配慮されている。  ●資料では，生き物のいろいろな姿や飼育方法が示され，気付きがサポートされるようになっている。 | ●飼育単元  上p.58-67(生きもの大すき)  下p.42-55(みんな生きている)  ●栽培単元  上p.20-33(げんきにそだてわたしのはな)  下p.12-25(大きくそだてわたしの野さい)  ●飼育や栽培の資料  上p.70-71(生きもののそだてかた)  下p.54-55(生きもののそだて方)  下p.125(野さいのそだて方) |
| 38 | **環境教育・ESD**（持続可能な開発のための教育）・**SDGs**への配慮はされているか。 | ●学校内のビオトープ，落ち葉での堆肥作り，リサイクルなど，環境に目を向けさせ，自然のすばらしさを実感し，これらを大切にする心が育つようになっている。  ●飼育単元では，乱獲防止を促すキャラクターの台詞を掲載し，生態系を大切にする心が育つように配慮している。  ●飼育単元では，環境省が作成した「生態系被害防止外来種リスト」で「**緊急対策外来生物**」に指定され，生態系に大きな影響を及ぼすアメリカザリガニの掲載を避けている。  ●下巻p.55では，外来生物の自然環境への影響を低学年の児童にもわかるように示しており，外来生物との関わり方や環境問題などに目を向けさせることができるようになっている。 | ●自然を大切にする心を育てる  上p.12,48,76,102(ビオトープ)  上p.85,下p.69(再利用)  下p.123(落ち葉での堆肥作り)  下p.123(リサイクルをしよう)  ●乱獲防止  下p.47(そだてることができる数だけつかまえようね)  ●飼育単元  上p.58-67(生きもの大すき)  下p.42-55(みんな生きている)  ●外来生物との関わり方  下p.55 |
| 39 | **さまざまな情報手段の活用**が示唆され，情報教育への配慮はされているか。 | ●情報の発信者，受信者，利用者としての視点で，低学年でも可能なさまざまな情報手段の活用を示唆している（インタビュー，図鑑で調べる，電話，手紙，デジタルカメラ，インターネット，電子黒板，掲示板の活用など）。  ●巻末資料において，「しらべよう」，「きろくしよう」，「友だちと考えを深めよう」，「まとめよう つたえよう」など，情報の活用のしかたを一連のものとして見ることができるようになっている。 | ●巻末資料「がくしゅうずかん」  上p.121(コンピュータをつかおう)  上p.122(しゃしんやどうがをとろう)  下p.111(インタビューをしよう)  下p.122(手紙,電話,ファックス,電子メール)  下p.110-111(しらべよう)  下p.112-113(記ろくしよう)  下p.114-115(友だちと考えをふかめよう)  下p.116-117(まとめようつたえよう)など |
| 40 | **ＩＣＴ機器**を適切に活用できるよう配慮されているか。 | ●児童の発達段階に配慮しながら，デジタルカメラ，コンピュータ，タブレット端末，電子黒板，インターネットなど，ICTを活用する学習活動が例示されている。  ●ICTが有効な場面には紙面にQRコードが掲載されており，学校や家庭で学習の助けになる教材（動画・補充資料などの）が利用できるようになっている。 | ●ICTの活用  上p.37,43,6479,121,122など  下p.21,25,37,39,52,92,95,111,113,117など  ●QRコンテンツ  上p.1,3,21,35,45,59,73,81,97,99,119,131など  下p.10,11,13,15，27,43,56,57,59,70,71,73,96,97,109など |
| 41 | **キャリア教育**に十分目を向けられているか。 | ●地域の店や公園などを訪問したり，利用したり，そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で，その人たちへの**感謝や憧れの気持ち**をもつとともに，自分の夢や未来について考えることができるように工夫されている。  ●低学年におけるキャリア教育で大切な，自分の好きなこと，得意なことを増やし，さまざまな活動への興味・関心を高めながら意欲と自信をもって活動することができるような学習活動が多様に掲載され，また，それを実感できる「３年生へのステップブック みらいにむかって」の資料単元が掲載されている。 | ●働く人との関わり  上p.38  下p.32-35,38-41,78-81など  ●３年生へのステップブック  下[小寸]p.1-7(みらいにむかって) |
| 42 | **多様な家庭環境**を考慮した活動内容となっているか。 | ●写真やイラストは，児童の多様な家庭環境に配慮されている。  ●家族単元では，児童の多様な家庭環境に十分に配慮しながら，家族のあたたかさを実感したり，自分の役割を考えたりできるように工夫されている。  ●成長単元では，児童の多様な家庭環境に十分に配慮しながら，自分自身の成長をふり返ることができるように工夫されている。 | ●家族単元  上p.86-93（ひろがれえがお）  ●成長単元  下p.98-108（これまでのわたしこれからのわたし） |
| 43 | **社会に開かれた教育課程，家庭や地域社会との連携**に配慮されているか。 | ●家庭との連携が重要な内容に，保護者の方へのメッセージを設け，**家庭との連携が深まる**ように配慮されている。  ●**外部人材との連携**（地域の人的・物的資源の活用）の例として，地域のお年寄り（昔の遊び），農家の人（野菜の栽培），町で暮らす人や働く人（町探検），見守り隊の人（交通安全）など，児童の生活を支える人々との交流が示されている。  ●生活科の活動でのできごとを家庭で伝えるようすや地域の活動に積極的に取り組むようすが「ひろがるきもち」コーナーに記載されている。  ●公園探検や町探検などの野外活動では，地域の人や保護者の方，PTAなどの協力を得ながら，安全に活動しているようすがイラストで示されている。 | ●保護者の方へのメッセージ  上p.③,1,19,132,下[小寸]p.8  ●外部人材との連携  上p.96-97,下p.16,20,26-35,38-41,72-81  ●「ひろがるきもち」コーナー  上p.17,55,93,下p.37,95  ●野外活動での家庭や地域の人との連携  上p.36-37,78-79,下p.32-33 |
| 44 | **健康教育・生活習慣・食育**に配慮されているか。 | ●歯磨き，手洗い，うがい，早寝早起きなど基本的な生活習慣が身につき，健康に生活ができるようになるためのきっかけづくりとなる内容が記載されている。  ●上巻では，夏休み前と冬休み前に「きせつだより」の資料が設定され，休みの間でも，**規則正しく健康**に過ごすことへの意識づけや指導ができるようになっている。  ●上巻の家族単元（ひろがれえがお）では，自分の１日の生活を見直し，規則正しく生活しようとする意識を育てることができるようになっている。  ●巻末の「がくしゅうずかん」の健康に関する資料には，「おいしくたべよう」のコーナーが設定され，食育にも配慮されている。 | ●夏休み・冬休み前の指導  上p.56-57(きせつだよりなつ),  上p.94-95(きせつだよりふゆ)  ●家族単元「ひろがれえがお」  上p.86-93  ●食育  上p.129（けんこうにすごそう） |
| 45 | **学校や地域の独自性を生かした活動**が選択できるようになっているか。 | ●活動例や学習対象が多様に紹介され，その中から，学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。  ●冬の単元では，雪が降る地域でも，雪が降らない地域でも活動が展開できるように，雪を利用した遊びと風を利用した遊びの両方が扱われている。 | ●選択できる活動例や学習対象  上p.22-31(花),50-51(砂場遊び,シャボン玉),58-63(生き物),82-85(どんぐりごま,やじろべえ,ダーツなど),  下p.14-23(野菜),44-51(生き物),60-65(おもちゃ)など  ●冬の単元「ふゆとなかよし」  上p.98-107（雪遊び，風遊び） |
| 46 | **インクルーシブ教育やユニバーサルデザイン**に配慮されているか。 | ●色覚の個人差を問わず，紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用い，**メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）**による認証を申請中です。  ●本文などの基本的な文字のフォントは，**UDフォントを採用**し，誰もが見やすく，読み間違えが少ないよう配慮されている。  ●多様な児童に配慮し，「小単元名」，「本文」，「カード例」など**要素の位置が原則として固定**されている。また，学習活動の中で読む必要のあるカードは傾けて配置することを避け，読みやすい構成になっている。 | 教科書全体を通して |

**９．表記・表現**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 47 | **表記・表現**は親しみやすく，児童の意識に沿っているか。 | ●単元名や小単元名の他，本文中の言葉については，いずれも児童が行う活動や体験への重要な刺激となるように位置づけられており，下記のように設定されている。また，それらの構成要素の位置は，原則として固定されている。  [単元名]  その単元で扱う事象や内容の本質的な特徴を，児童の興味を引く表現で示し，大きなまとまりの中で多様な活動が可能になるように工夫されている。  [小単元名]  その小単元の学習活動を具体的に示し，活動への意欲が高まるようになっている。  [本文]  小単元名を受けた児童の思いや願いに沿った文章で，児童に気付いてほしいポイントや，意欲・驚き・喜びを表現するとともに，気付きの広がり・深まりを促す工夫がされている。  [台詞]  本文を補い，活動への示唆や児童のつぶやき・疑問の声などが「ふきだし」で示されている。 | 教科書全体を通して |
| 48 | **漢字・カタカナ**の使い方は適切か。 | ●国語科の指導に配慮し，上巻の前半は，ひらがなのみ，上巻の後半(夏休み以降)の単元からは，カタカナと第１学年配当漢字(ふりがな付き)が使用されている。下巻は，ひらかな，カタカナ，第１学年の配当漢字(ふりがな付き)に加え，第２学年までの配当漢字(ふりがな付き)が使用されている。  ●児童の発達に配慮し，読みやすくするため文章が短く，区切られている。 | 〈漢字・カタカナの使い方〉   |  |  | | --- | --- | | 上巻(前半) | ひらがな | | (後半) | ひらがな，カタカナ，  第1学年配当漢字(ふりがな付き) | | 下巻 | ひらがな，カタカナ，  第1～2学年配当漢字(ふりがな付き) | |
| 49 | **デザイン・レイアウト**は適切か。 | ●１つの活動は見開きを基本として構成されていて，活動の内容がとらえやすくなっている。  ●基本的なストーリーは低学年児童の教科書にふさわしい程度の文字情報量と動きのある写真やイラストで構成され，それらがすっきりとレイアウトされている。  ●活動を広げ，深めることができるように，紙面に巻末資料への参照マークがあり，児童の**主体的な学びをサポート**するデザインになっている。 | ●資料ページへの参照マーク  上p.17,25,3343,55,63,65,83,85,93,97,105,107  下p.9,17,21,25,33,37,41,53,63,67,69,91,93,103,105 |
| 50 | **写真・イラスト**は適切か。 | ●写真やイラストは，児童の想像力を刺激したり，共感をよんだりして，実際に活動する際の資料として十分活用できるようになっている。  ●興味・関心を喚起するダイナミックな写真と，緻密な資料としての写真とをメリハリをつけて，適切に配置されている。 | 教科書全体を通して |

**１０．用紙・印刷・製本**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 観点 | 啓林館の特色 | 具体例 |
| 51 | 鮮明な印刷になっているか。 | ●白色度の高い用紙に，鮮明で美しく印刷されている。 |  |
| 52 | 製本や加工は，低学年児童の使用を考慮しているか。 | ●製本は，「あじろ無線とじ」で強力な接着止めを行って堅牢なつくりになっており，ＡＢ判というサイズながら，紙面は開きやすく広く丈夫に確保されている。  ●氏名記入欄は裏表紙に設けられ，記入しやすいように，コート加工が部分的に外されている。  ●表紙には，厚い用紙が使用され，汚れや濡れに強い加工が施されている。  ●「すたあとぶっく」や「ステップブック」などの小寸ページの用紙は，光沢感があり，本文より厚い用紙が使用されている。 |  |
| 53 | 用紙や印刷は，環境に配慮されているか。 | ●発色が良く，耐久性もある，再生紙が使用されている。  ●環境への負荷が小さい植物油インキが使用されている。 |  |